

第四十四回帝國議會  
衆議院

# 貯蓄銀行法案外一件

貯蓄銀行法案  
銀行條例中改正法律案  
日本勸業銀行及農工銀行ノ合  
併ニ關スル法律案  
日本勸業銀行法中改正法律案  
農工銀行法中改正法律案  
農工銀行補助法中改正法律案

## 委員會會議錄(速記)第四回

### 會議

大正十年三月八日午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

波多野承五郎君 秋本 喜七君 白井 博之君

原田藤次郎君 天春 文衛君 赤田 瑳一君

高見 之通君 平田民之助君 田中 定吉君

海江田準一郎君 手島 鐵司君 金田平兵衛君

武内 作平君 紫安新九郎君 倉石 知藏君

上田彌兵衛君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省銀行局長 黒田 英雄君

大藏省參事官 三土 忠造君

大藏書記官 保倉熊三郎君

大藏書記官 岡田 信君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

### 貯蓄銀行法案

#### 銀行條例中改正法律案

○委員長(波多野承五郎君) 只今カラ開會致シマス

上田彌兵衛君 討論ノ時ニ申上ゲマス

○高見之通君 質問ガアリマス

○委員長(波多野承五郎君) モウ質問ハ終了シテ居

ル筈デスガ……

○高見之通君 重要ナル事ニ就テ質問シタイ

○委員長(波多野承五郎君) 先例ヲ能ク存ジマセ

ガ、ソレハ委員ニ諮ツテアルノデスカ

○高見之通君 今マデ許シテ居リマス

○委員長(波多野承五郎君) 今マデサウ云フ例ニナ

ッテ居リマスレバ、宜シウゴザイマス——高見君

○高見之通君 當局ニ質問致シマス、此案ノ精神ハ

大體ニ於テ預金者ノ保護ヲ專ラトシテ、且又將來ノ

貯蓄銀行ノ經過ノ上ニ顧ミテ、此案ヲ提出セラレタ

ト云フ其精神ニ就テハ、十分ニ諒ト致シマス、併ナガ

ラ何分此法案ノ條文ニ就テ、種々新シク加ヘラレタ

ル諸般ノ制限モアリマスカラ、當業者一般ニ取ツテモ

施行期日ト云フコトハ重大ナル關係ヲ有スルノデア

ラウト思ヒマス、ソコデ第二十三條ニ「本法施行ノ期

日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスルガ、政府ハ  
此施行期日ヲ何日ニ御決定ニナル積リデアルカ、其  
御考ヲ承リタイ  
○黒田政府委員 誠ニ御尤ノ御尋デアリマスルガ、  
此施行期ニ就テハ、前會ニ於キマシテ、大體本年ノ下  
半期ヨリ施行致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマシタ  
ノデアリマスルガ、色々御質問モアリマスルシ、其内  
ニ色々御意見モアッタノデアリマシテ、當局ニ於キマ  
シテモ種々考慮致シタノデアリマスルガ、只今御質  
問ノヤウナ色々ノ事情モアルコト考ヘルノデアリ  
マスルカラ、此施行期日ハ本法ガ公布セラレマシタ  
ナラバ、勅令デ以テ來年ノ一月一日、即チ大正十一年  
ノ一月一日ヨリ施行スルト云フコトニ致シタイ考ヲ  
持ツテ居ルノデアリマス、其事ヲ茲ニ明カニ申上ゲテ  
置ク次第デアリマス、又色々御心配ノ點モアッタヤウ  
デアリマスルガ、今日經營シテ居リマスル所ノ貯蓄  
銀行ガ、或ハ其貯蓄ノ業務ヲ分ツテ、他ニ一銀行ヲ新  
シク立テテ普通銀行ニナリ、或ハ普通銀行ノ業務ヲ  
他ニ分割シテ、別ニ銀行ヲ立テルト云フ風ナ色々準  
備モアルコト考ヘルノデアリマスルガ、是等ニ就  
キマシテハ施行期日ヲ來年ノ一月一日ト致シマシテ  
其間營業者ニ於テ色々ノ計畫ニ就テハ、當局ニ於キ  
マシテモ十分ノ便宜ヲ計リ積リデアリマス、手續等  
ニ就テハ、成ベク速ニ運ブヤウニ地方長官ニモ依頼  
ヲ致シマスシ、當局ニ於キマシテモ、出來得ル限り、  
速ニ手續ヲ運ブヤウニ致シタイ考ヲ持ツテ居リマス  
○高見之通君 繰返シテ質問スル必要モアリマセ  
デスガ、斯ノ如キ重大ナル言明ハ、今マデ屢々當局大  
臣ノ出席ヲ求メテスルノガ慣例デアリマシタケレド

モ、吾々ハ敢テ必ズシモ國務大臣ノ出席ヲ求メズト  
モ、政府當局ノ意思ガ確乎トシテ動かザル事ガ明カ  
ニナレバ、ソレデ宜シイノデアリマス、此施行期日ニ  
就テ出來ルダケノ便宜ヲ圖ルト云フコトハ、所謂政  
府當局ノ確乎タル意思デアアルカドウカラ伺ヒマス  
○黒田政府委員 此事ニ就キマシテハ、能ク大臣ノ  
意嚮モ確メマシテ、協議ヲ致シタノデアリマシテ、必  
ズ勅令ヲ以テ施行期日ハ來年ノ一月一日ヨリ施行ス  
ルコトニ定メタト云フコトヲ、確ニ申上ゲテ宜シイ  
ノデアリマス、尙ホ諸般ノ便宜ヲ出來ルダケ圖ルト  
云フコトモ、爰ニ明言ヲ致シテ差支ナイノデアリマ  
ス  
○高見之通君 能ク御趣意ノ點ハ了承致シマシタ  
○委員長(波多野承五郎君) モウ御質問ゴザイマセ  
スカ——ソレナラバ是カラ討論ニ入リマス  
○上田彌兵衛君 私ハ只今委員ノ手許ニ差出シマシ  
タ修正ノ方ヲ提案シタイノデアリマス、第一條ノ第  
一項、第二號中ニ「十圓未滿」トアリマスノヲ「二十圓  
未滿」ニ改メタイノデアリマス、第二項ノ「十圓未滿」  
ヲ「二十圓未滿」ニ改メタイト思ヒマス、現行法ニ於  
キマシテハ、五圓デアアルノヲ十圓ニ改正サレタノハ、  
今日ノ經濟狀態カラ見マスルト、少シク寡少ニ感ズ  
ルノデアリマス、今日ノ時勢ニ適合スル經濟狀態ヲ  
考ヘマスルト、一回二十圓ニ改メルノガ適當ト思フ  
ノデアリマス、ソレカラ第三條ヲ削除シタイト思フ  
ノデアリマス、御承知ノ貯蓄銀行ハ其重役、經營者  
ハ無限責任デアリマスカラ、假令資本金ガ少クトモ、  
資本大ナルモノヨリモ、ヨリ多クノ信用ヲ持ツテ居ル  
モノモアルノデアリマス、是等ハ第二條ノ法案ハ、主  
務大臣ノ免許ヲ得ルト云フ事ニナツテ居リマスカラ、  
定款等ヲ填補シテ主務大臣ニ提出スル際ニ、其定款  
中ニ資本ト云フモノヲ差出スノデアリマス、大臣ノ  
免許權ニ依テ相當ナル所ヲ御決メニナルト云フコト

ガ、其地方ノ狀況等ニ依テ適當デアラウト信ズルノデアリマス、ソレカラ第八條ノ本文ハ、小切手ニ依テ支拂ヲ爲ス取引ヲ禁ゼラレテアルノデアリマスガ、重モ此禁ゼラレタル理由トシテハ、小切手ニ依リ貸越等ヲ爲シタル際ニ、所謂信用貸付ヲ爲スト云フ危險ヲ防止セントスルノ御意思デアラウト思フノデアリマス、若シサウ云フ危險ヲ防止スルト云フ御意思デアアルナラバ、ソレハ私共モ異論ガ無イノデアリマスガ預金額ノ範圍内ニ於テ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スコトヲ許スト云フ事ハ、餘程ノ便宜ナ方法デアラウト思フノデアリマス、サウシテ何等危險ト云フモノガ無イノデアリマスカラ、第八條ハ「貯蓄銀行ハ第一條第一項第一號第二號ノ預金額ノ範圍内ニ於テ小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス取引ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フ事ニ修正ヲシタイト云フノデアリマス、ソレカラ第九條ノ但書ニ於キマシテ、「供託金額中受入金額ノ四分ノ一ヲ超ユル額ニ付テ」アリマスノヲ「供託金額二分ノ一マデハ第十一條第一項第一號ノ有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得、斯ウ云フ事ニシタイノデアリマス、國債ヲ供託ニ全部致シマスルト云フコトハ、餘程此國債ノ價格ノ下落ニ對シテ危險ヲ防止スル途ガ無イノデアリマスカラ、供託金額ニ對スル半分ヲ有價證券ヲ以テ國債ニ代ヘタイ、サウシテ銀行ノ營業上ノ資金ノ缺損ヲ來サナイヤウ、危險防止ノ方法ヲ講ジテ行キタイト、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、第九條ノ第三項ト致シマシテ「第一條第一項第三號第四號ノ受入金額中第十一條第一項第四號第五號ノ貸付ヲ爲シタル金額ハ供託ニ付テハ預金額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得」斯ウ云フ字句ヲ入レタイト思フノデアリマス、本法ノ第十一條ニ依リマスルト、預金者ニ對シ、其預金額ノ限度トスル貸付ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、預金者ノ預金ニ對スル額ノ預金者ニ貸付ケマス云フコトハ、銀行帳簿上ニ於キマシテハ、貸金ト預金ハ別ニ載ッテ居リマスケレドモ、事實ニ於テハ引出モ同等デアルト思フノデアリマス、其引出サレタモノト同等ノ額ニ對シテ供託金ヲ納メルト云フコトハ、二重供託ノ虞レガアルト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ當

然ハハ預金者ニ對シテ、預金額ヲ限度トシタ貸付金ニ對シテ、供託金ヲ免除スルト云フコトガ、至當デアルマイカト思フノデアリマス、ソレカラ第十三條ノ「一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス」トアリマスノヲ、十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フ事ニシタイト思フノデアリマス、是ハ前ニ第三條ノ「資本金」ノ字句ヲ削除致シマシタ結果、或ハ地方ニ依テ、五十萬圓以下ノ確實ニ行ハル、銀行ガアリマスカラバ、御許シニナツテモ宜カラウト思ヒマス、其際ニ資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超エナイト云フ事デハ、甚ダ少額ト思ヒマス、之ヲ十分ノ三ト改メタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二十二條ノ「貯蓄銀行業ヲ營ム者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ、營業稅額ノ一分ノ一ヲ免除ス」トアリマスノヲ、「營業稅及所得稅額ノ二分ノ一ヲ減ス」、斯ウ云フコトニシタイトデアリマス、其次ニ一條ヲ加ヘマシテ「貯蓄銀行ノ發行スル預金通帳餘程銀行ノ營業上ニ就キマシテ、峻烈ナル制裁ガ加ヘテアルノデアリマスカラ、之ニ對シテ相當銀行ノ立行ク方法ヲ講ジテヤルト云フコトガ、貯蓄銀行ガ社會政策上、公共的事業トシテ宜キモノデアラナラバ、ソレニ對シテ相當ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトガ至當デアハアルマイカト思フノデアリマス、要スルニ本改正案ハ貯蓄ヲ獎勵シ、又預金者及積立金ヲ保護致シマシテ、之ニ安心ヲ與ヘルト云フ政府ノ御趣意ニ對シマシテハ、吾々ハ之ニ對シテ異存ガナイノデアリマス、併ナガラソレガ爲メニ銀行ソレ自身ノ營業難ニ陥ルガ如キコトガアリマスルナラバ、假令此銀行業ハ社會的事業トシテ公共的ニヤリマスルニシテモ、營利的會社デアリマスル以上、私ハ少シク此案ニ對シテハ酷デアルマイカト思フノデアリマス、只今申上デマシタ預金者ニ安心ヲ與ヘルト云フ點ニ於テハ、ソレ故ニ私共ハ何等ノ修正變更ノ意見ヲ持ッテ居リマセス、唯ダ銀行ノ營業上ニ是ダケノ制裁ヲ加ヘル以上ハ、多少ノ銀行ノ立行キマスル點ニ於テ、保護恩典ヲ加ヘルト云フ點ダケニ於テ、修正ヲ致シタイト思フ次第デアリマス、ドウカ其點ヲ

御諒承ヲ願ヒマシテ、御贊成ヲ得タイト思ヒマス  
○高見之通君 一寸委員長ニ承リマスガ、尙ホ此外ニ修正案ハ憲政會ノ方カラ出テ居ルノデアリマスカ  
○委員長(波多野承五郎君) 今マダ私ノ手許ニハ來テ居リマセス  
○高見之通君 一寸委員長カラ聽イテ貰ヒタイト思ヒマスガ、憲政會ノ方カラ修正ガ出マスカ  
○武内作平君 出マス——マダ御手許ニ廻ッテ居リマセスカ——ソレデハ私カラ申上ゲテ置キマス、此憲政會ノ方カラ出マス修正案ハ、矢張只今上田君カラ提出サレタモノト同一デアリマシテ、唯ダ其中ノ三項ニ止マルノデアリマス、ソレハ第八條ノ預金額ノ範圍内ニ於テ小切手ニ依テ支拂ヲ爲スコトガ出來ナイト云フコトヲ、預金額ノ範圍内ニ於テハ、小切手ニ依テ支拂ヲ爲スコトニシタイト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ矢張供託金デアリマス、是モ上田君ノ御述ニナツタ所ト同一デアリマシテ、三分ノ一ノ供託ヲ爲スト云フコトハ宜シイガ、其供託額ノ半分ハ國債其他供託株券等、即チ有價證券ニ依ルト云フコトニ修正ヲ致シタイ、ソレカラ第三ハ此預金者ニ對シテ預金ヲ擔保ニ貸シマシタ部分ニ就テハ、此供託金カラソレヲ控除シタイト云フ點デアリマス、デ修正ノ理由モ大體ニ於キマシテ、上田君カラ御陳述ニナリマシタルト同一デアリマス、デ吾々ニ於キマシテモ矢張同ジヤウナ趣意ニ於テ、上田君ノ御述ニ唯ダ成ベク細カイ辛抱スレバ辛抱ノ出來ル事ハ宜シイトシテ、ドウシテモ辛抱ノ出來ナイ、斯ウシナケレバイカナイト云フ點ダケニ就テ修正ヲ加ヘタノデアリマス、デ此預金額ノ供託ヲ致シマスル金額ノ二分ノ一ヲ、他ノ國債以外ノ有價證券ニシタイト云フコトト、預金ヲ擔保トシテ貸出シタ分ニ對シテハ、供託ヲ免除シヤウト云フコトハ、是等ノ點ヲ厲行致シマスルナラバ、到底此貯蓄銀行ハヤリ切レナイ、ソレデ從前ノ通り致シマスルナラバ、危險モナクシテ、殊ニ株金ハ矢張政府ノ承認シタ有價證券ニナリマスカラシテ、銀行ノ業務ヲヤルニ幾ラカ樂ニナルト云フコト、預金者ニ預金ヲ貸シテ居ル場合ニ

於テハ、多大ニ供託ヲスルト云フ必要ハナイノデア  
リマス、必要ナキ供託金ヲサセルト云フ事ガ出来ナ  
イコトニナリマス、ソレカラ小切手デ支拂ヲサスト  
云フコトハ洵ニ便利デアリマス、過日ノ質問ニ依リ  
マシテモ、佛蘭西邊リデモ斯ウ云フヤウニシテ居ル  
ト云フヤウナ御説ガアリマシタガ、餘所デサウ云フ  
ヤウナ事ヲシテ居リマシテモ、常ニ弊害ノアルト云  
フヤウナコトデハ別デアリマスケレドモ、今日マデ  
慣行致シテ參ッテ、非常ニ便利ナ事デアリマスカラ、  
之ヲ強テ此便利ヲ犧牲ニスルト云フ理由ハナイト思  
ヒマシテ、此三點ノ修正ヲ提出致シタノデアリマス  
○高見之通君 一寸只今ノ武内君ニ伺ヒマスガ、サ  
ウスルト云フト上田彌兵衛君ノ修正案ノ第五、第六、  
第七條ヲ修正案トシテ御出シニナッタノデアリマス  
カ

○武内作平君 第八條ト第九條ノ二項ニナリマス、  
文句ハ多少違ヒマス

○高見之通君 サウスルト其上田君其他ノ提出サレ  
タ修正ニ就テハ、是ハ別問題デスカ

○武内作平君 別問題デス

○高見之通君 此上田君提出ノ修正案、及武内君提  
出ノ修正案ニ關シテ、政府ノ意見ヲ求メマス

○黒田政府委員 只今御述ニナリマシタ上田君並ニ  
武内君ノ御修正ノ御意見ニ對シマシテ、政府ハドウ  
考ヘルカト云フ御尋デアリマスカラ、之ニ對シマス  
ル當局ノ考ヲ申述ベタイト思ヒマス、第一ノ點ハ第  
一條ニ規定致シテ居リマス、一回十圓未滿ヲ預金  
トシテ受入レルト云フコトヲ、二十圓未滿トシタイ  
ト云フ御趣意デアリマスガ、此點ハ過日モ申シマシ  
タ通り、貯蓄銀行ノ受入レマスモノハ、零碎ナル資金  
ト云フノガ主ナルモノデアリマスカラ如何ナル程度  
マデガ零碎ノ資金カト云フノガ問題デアリマシテ、  
從來ハ五圓デアリマシタガ、今日ニ於キマシテハ、之  
ヲ十圓位キニスルコトガ至當デアルト云フ考ヲ持ッ  
タノデアリマス、之ヲ二十圓ト致シマスト云フト、一  
方ニハ普通銀行ノ方デ受入レテ居リマス所ノ當座預  
金、或ハ小口當座ト云フ風ナモノニ影響ヲ及ボスノ  
デアリマシテ、都會地ニ於キマシテハ、或ハ二十圓デ

モ差支ナイカト思マスケレドモ、地方ニ於キマシテ  
ハ二十圓ノ預金ト云フコトハ相當ニ多イノデアリマ  
スカラ、之ヲ總テ零碎ノ資金トシテ貯蓄銀行ノ取扱  
フモノト致シマス、普通銀行ガ非常ナ打撃ヲ受ケ  
ル事ト考ヘマス、其故ニ此點ハ御賛成ガ出来ナイノ  
デアリマス、次ニ第二ノ點ハ無論第一ニ關聯ヲ致シ  
テ居ルノデアリマスカラ、申上ゲルマデモナイ事デ  
アリマス、第三ノ點ハ資本金ノ制限ヲ削除シタイト  
云フ御話デアリマスガ、是ハ前會ニモ申シマシタ通  
リニ、現行ノ資本金ト云フモノハ、預金者ニ對シテ擔  
保ニナルベキモノデアリマスカラ、成程重役ハ連帶  
無限ノ責任ヲ帶ビテ居リマスガ、併シ重役ノ資産ト  
云フモノモ、常ニ變動スル危險ヲ持ッテ居ルモノデア  
リマス、相當ノ金額マデハ、資本金トシテ此ニ備ヘテ  
置クト云フコトガ必要ト考ヘマス、五十萬圓位ハ今  
日ニ於キマシテハ相當ノ額ト考ヘルノデアリマスカ  
ラ、之ヲ削除致シマスル事ハ御同意スル事ガ出来ナ  
イノデアリマス、ソレカラ第四番目ニ第一條、第一項  
第一號第二號ノ預金額ノ範圍内デ以テ、小切手ニ依  
テ支拂ヲシテ、取引ヲシテ宜シイト云フ事ニシタイ  
ト云フ御話デアリマスガ、是ハ單ニ外國ノ例ニノミ  
依ッタノデハナイノデアリマス、貯蓄預金ト云フモノ  
ハ、元來蓄積シテ行クベキ性質ノモノデアリマス、少  
シヅ、ノ金ヲ漸次蓄積シテ、之ヲ巨額ニ達セシメヤ  
ウト云フ趣意デアリマスカラ、小切手ニ依テ支拂ヲ  
スル預金トハ、根本ニ於テ其性質ヲ異ニシテ居ルノ  
デアリマス、小切手ニ依テ支拂ヲスル所謂今日ノ當  
座預金ト云フモノハ、蓄積ヲスル趣意デハナイノデ  
アリマシテ、寧ろ銀行ニ保管ヲシテ貰ッテ、サウシテ  
ソレカラ支拂ヲスルト云フ性質ヲ帶ビテ居ルノデア  
リマス、根本ニ於テ貯蓄預金トハ、性質ガ違フノデア  
リマス、其上若シ斯ノ如ク修正ニナリマスト云フト、  
普通銀行ト貯蓄銀行トノ、言ヒ換ヘレバ當座預金ト  
貯蓄預金トノ區別ガ極メテ不明確ニナルノデアリマ  
ス、若シ預金ニ就テ半期毎ニ其利子ヲ預金者ノ請求  
ニ依テ組入レルト云フ事ノ手續ニシテ行キマス、  
殆ド此貯蓄ソレガ複利デアルカ、或ハ單利デアルカ  
ト云フ區別ガ、場合ニ依テハ困難ニナリマス、貯蓄銀

行ト普通銀行トノ間ノ區別ガ、判然ト付ケルコトガ  
困難ニナッテ來マスカラ、其點カラ言ヒマシテモ、之  
ヲ許スト云フ事ハ御同意ガ出来ナイノデアリマス、  
其次ニ供託ノ中ノ國債ノ供託ヲ半分迄ニシタイト  
云フ御意見デアリマスガ、之ニ就テハ既ニ屢々申上  
ゲマシタ通り、供託スベキモノハ最モ確實デアッテ、  
サウシテ價格ニ變動ノ無イ、融通性ヲ十分ニ持ッタモ  
ノニスルコトノ必要ガアル、又サウ云フ考ヲ持ッテ居  
リマスカラ、出來得ルナラバ供託金ノ全部ヲ國債ニ  
シタイト云フ考デアリマスケレドモ、此案ニ於キマ  
シテ受入金額ガ四分ノ一迄ニ致シテ居ルノデアリマ  
スカラ、更ニ之ヲ少ナクスルト云フ事ハ、前ニ申シマ  
シタ主義ノ上カラシテ見マス、其供託ノ力ヲ弱メ  
ルコトニナルト思ヒマスカラ、之ニ御同意ガ出来ナ  
イノデアリマス、ソレカラ其次ニ第一條第一項第三  
號及第四號ノ受入金額ニ就テ第十一條第一項第四  
五號ノ貸付ヲシタ金額ハ、供託ニ於テハ預金額カラ  
控除シタイト云フ御話デアリマスガ、是ハ貸付ト預  
リト云フコトハ自ラ別個ノモノデアアルノデアリマシ  
テ、直チニ之ヲ同一ニ取扱フト云フコトハ、理論上正  
當デナイト考ヘマス、ソノミナラズ、實際ニ於キマシ  
テモ、果シテ預金者ニ對シテドレダケノ貸付金額ノ  
中ノ、ドレダケガ預金者ニ對シテ貸付ケテ居ルノデ  
アルカ、又定期積金或ハ据置貯金ト云フモノノ期限  
ト、貸付ノ期限ト云フモノガ必ズシモ一致シナイ、多  
クノ場合ニ違フノガ原則デアリマスカラ、サウ云フ  
風ニ一方ニハ債務ノ期限ト、債權ヲ持チマスル期限  
トガ違フノデアリマスカラ、之ヲ期末ニ依テ同一  
ニ取扱フト云フコトハ、理論上正當デナイト考ヘマ  
スカラ、此點モ御同意ガ出来ナイノデアリマス、ソレ  
カラ其次ニ十三條ノ第一項ノ中デ、一人ニ對シマス  
ル貸付額ノ制限ヲ、十分ノ三ニ擴ゲタイト云フ御話  
デアリマスガ、是モ前ニ申シマシタ通り、餘リ一人  
ニ對シテ貯蓄銀行ガ密接ノ關係ヲ結ビマシテ一人ニ  
多額ノ貸付ヲスルト云フコトハ、極メテ避クベキ事  
ト考ヘルノデアリマス、多クノ銀行ノ例ヲ見マシテ  
モ、前會ニモ申シタノデアリマスガ、大抵十分ノ  
一トカ、或ハ五分ノ一ト云フ位キマデモ制限シテ居

ルノガ普通デアリマスカラ、之ヲ擴張致スト云フ事ハ、御同意ガ出來ナイノデアリマス、次ニ第二十二條ノ營業稅ノ半額ヲ免除シマスル所ニ、所得稅ヲ併セテ免除スルト云フ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマスカラ、是モ所得稅ハ元來所得ガアリマスル者ニハ、課稅スル稅法ノ仕組ニナツテ居ルノデアリマシテ、所得ガ少ナケレバ所得ノ稅額モ少ナクナルノデアリマスカラ、營業稅ノ方ハ、營業ノ收益ニ必ズシモ依ラズ營業稅ヲ課稅シテ居リマスカラ、今回ノ改正ニ依リマスト銀行ノ收益モ幾分少ナクナルト云フ事ヲ豫想シ得ルト考ヘマスカラ、其故ニ營業稅ノ半額ヲ免除致ス事ニ致シタノデアリマスカラ、所得稅ヲ免除スルト云フ事ハ、今日ノ法制ノ仕組ノ上ニ於キマシテ必要ノ無イ事ト考ヘルノデアリマス、又免除スルト云フ事ハ出來ナイノデアリマス、ソレカラ次ニ貯蓄銀行ノ發行スル預金通帳ニ對シテハ、印紙ノ貼用ヲ要シナイト云フ事ニシテ貫ヒタイト云フ御話デアリマスカラ、此印紙稅法ニ就キマシテハ、攻究ヲ要スル點ガアルヤウニモ考ヘマスカラ、是等ハ目下財政經濟調査會ニ於キマシテ、稅法ノ全體ニ就テ調査サレテ居リマスカラ、其結果ニ依テ更ニ考慮シタイト考ヘマス、今俄ニ此事ダケニ就イテ特別ノ規定ヲ設ケルコトハ、御同意ガ出來ナイノデアリマス、ソレニ依リマシテ御兩君カラノ御意見ニ對シテハ、全部申上ゲタト思フノデアリマス、遺憾ナガラ全部御同意ガ出來ナイノデアリマス

○高見之通君 此場合自分ノ意見ヲ陳述致シマス、本員ハ貯蓄銀行法案ノ原案ニ全部賛成シ、上田君及武内君ノ修正案ニハ反對スルモノデアリマス、本案提出ノ理由ハ當局ヨリ屢々説明ヲ承リマシテ、爰ニ取テ辯ヲ費ス必要ハアリマセヌ、要スルニ吾々ハ此原案ヲ賛成スル根本意思ハ、現内閣ノ執ル一般ノ財政其他諸般ノ制度ヲ作ル其主義政策ニ、滿腔ノ同情ヲ表スル者デアリマス、現内閣ハ所得稅ヲ改正シタノデアアル、其改正ノ趣意ハ——稅率ヲ高メテ所得稅ノ増徴ヲスル事ノ根本ノ趣意ハ何所ニ在ルカト云フト國防充實デアッタ、併シ一度改正スルト社會政策貧乏人ヲ出來ルダケ救フト云フ無限ノ同情ヲ寄

セル所ニ、所得稅ノ特長ヲ持ッテ居ルノデアリマス、吾々増稅案ノ經濟的立脚點ヨリ離レテ、單ニ所得稅ソレ自身ニ向ッテ賛成シタ趣意ハ、現内閣ノ社會政策ハ、現在ノ社會ノ狀態ニ適應シタルモノデアルカラ、吾々所得稅改正案ニ賛成シタルデアリマス、諸般ノ政策ハ多數民衆ノ利益ヲ圖ル、其間ニハ「ブルジョア」階級ノ中傷離間ハアルケレドモ、勇斷果決之ヲ解決スル非常ナル勇氣ハ、現内閣ニ對シテ特ニ吾々ハ賞讃ノ辭ヲ費スヲ惜マスノデアリマス、今回ノ貯蓄銀行法案モ、此現在ノ經濟社會ノ非常ニ變亂ノ迹ニ鑑ミ、殊ニ貯蓄銀行ニ於テハ、色々ノ非難ト缺陷ニ就テ、當局ヨリ經濟界ノ安定ヲ缺クヲ悞ラレテ、詳シイ内容ノ説明ハ言ハナイケレドモ、其説明ノ言葉ノ中ニ如何ニ現在ノ貯蓄銀行ノ中ニ、預金者方面ヨリ見テ洵ニ不安ノモノガ相當ノ數ニ上ツテ居ルカハ、想像ニ餘ルノデアアル、經濟界ノ大暴風ハ、今ヤ多少安定ノ時期ニ達シテ居リマスカラ、此際陳形ヲ立直シテ、上ハ實業ノ指導畫策ヲ圖リ、下ニ於テ零碎ノ金ヲ何人カニ預ケテ、財産上將來ノ平安ヲ保ツト云フ階級ノ爲メニ設備ヲシテ、世界ノ大經濟界ノ上ニ陣形ヲ立直サナケレバナラヌト云フ時ニ於テ、色々離間中傷モアリマセウガ、當局ガ預金者ニ對スル立場カラ見テ、此案ヲ制定サレタ所ノ年來ノ主義ニ向ッテ同情ヲ寄スルノミナラズ、今回ノ勇氣ト決斷ニ對シテ、吾々ハ無限ノ同情ヲ拂ハナケレバナラヌデアリマス、各條ニ涉ッテハ吾々數日ニ互ツテ色々ノ方面ヨリ質疑致マシテ、殆ド其趣意及精神ニ關シテ、今日此際又再ビ批評スル必要ハナカラウト存ジマス、斯ノ如キ法案ガ一タビ法トナツテ社會ニ現ハレテ來タ際ニ、當業者方面カラ見タナラバ、相當ノ準備行為ヲ爲ス時期ヲ與ヘテヤラナケレバナラナイ是ニ於テ政府ハ大正十一年一月一日ヨリ此法ヲ施行スルト云フ事ノ言明ヲ得タル以上ニ於テハ、政府ノ當業者ニ對スル同情ガ、其心理ノ裡ニ發露サレテ居ルノデアリマス、斯様ニシテ吾々ハ此法案ヲ賛成スルニ吝ナラザルモノデアリマス、而シテ修正案ニ就テ上田君ノ御説明及武内君ノ御説明ガアリマシタ、又政府當局ヨリモ之ニ對スル御意見ガアリマシタガ、私ハ之ニ關シテ冷

靜ニ判斷シテ見ルト、例ヘバ第一點ノ十圓ヲ二十圓トスル事ハ普通銀行ノ受入ニ對シテ影響ヲ及ボス——地方ニ於テハ特ニ影響ヲ及ボスト云フ御辯明ヲ妥當ナリト信ズルノデアリマス、又今日五十萬圓ノ資金ヲ削除スルト云フ御意見ニ就テハ、政府ノ意見ノ在ル所、重役ノ資産ト云フモノハ、屢々變動ヲシ易イモノデアアル故ニ相當ノ力ヲ貯蓄銀行ノ資本ノ上ニ求メテ置クト云フ議論ハ、吾々ハ正シイト思ヒマス、又貯蓄銀行條例ヲ此際非常ニ根本ヨリ改正サレタル以上ニ於テハ、小切手支拂ノ制度ヲ認メルカ認メナイカト云フ事ハ、政府當局ノ意見ハ、貯蓄預金ト當座預金トノ區別ガ複利ト單利ト觀念ヲ執レニ求メルカ分ラナクナルト云フ御論ハ妥當デアリマス、又第六ノ國債ノ問題ニ就テ、國債ハ最モ確實性ヲ帶ビテ居ルガ故ニ吾々ハ他ノ國、殊ニ遠ク南亞米利加邊リデハ、國債ヨリモ地方ノ個人ノ株式ガ非常ナル實力ガアル、非常ナル變動ヲ受ケナイト云フ例ヲ屢々見テ居リマスカレドモ、海外ノ狀況ハイザ知ラズ、日本帝國ノ何ガ最モ確實ナル有價證券デアルカト云フト國債ニ越シタモノハ無イ、斯ク斷定シテ間違ナイト信ジマス、此意味ニ於キマシテ、政府ガ折角此法案ヲ作ッテ、サウシテ國債ヲ以テ大體ノ供託金ノ土臺ニシテ此貯金ノ安全ヲ圖ルト云フ精神ガ發露シテ居ル此限リニ於キマシテハ、政府ノ觀察モ大體妥當ト信ズルノデアリマス、ソレカラ第七ノ二重擔保ナル故ニ、此點ニ於テ供託ヲ掛ケナイ様ニスル方ガ宜カラウト云フ御議論ガアリマシタガ、尤モ實際上ニ於テ之ヲ調ベル事ハ困難ニナリマセウガ、觀念ノ上ニ於キマシテ、私ハ借ト貸トノ觀念ガ別ニアルト云フ上ニ於テハ已ムヲ得タモノデアアル、政府ノ意見ハ正シイト考ヘルノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ事モ考ヘテ置カナケレバナラヌト思フ、預ツタ金ヲ限度ニ於テ貸セル供託金ヲ免レルトスルト、借リル者ヲ努メテ其方ニ誘導スルト云フ傾ガアツテ無用ナル勞力、其間ニ詰ラナイ力ヲサウ云フ事ニ注グ、サウシテ折角預ケタ金ヲ成ベク御借リナサイ、御借リナサイト勸メルト云フ事ハ貯蓄ノ觀念ニ反スル、預ツタ金ヲ貸スノダカラ銀行トシテハ少シモ心配ガ無イ、預ツタ金ヲ貸セルヤ

ウニ貸セルヤウニト、銀行ガ其方ニカラ注グト云フコトハ、要スルニ貯蓄ノ根本ヲ覆スコトニナルト思ヒマス。カラ、私ハ此點ニ就テモ已ムヲ得ヌト思フ。ノデアリマス、第八ノ十分ノ一ヲ十分ノ三ニ改ムル、是點ハ多クノ銀行ハ斯ノ如キ標準デアリ、他ノ法律ニ於テモ斯ウ云フ例ニナッテ居ルト仰シヤル故、是ハ大藏當局ノ言ヲ信ジテ、斯様ニ此案ニ賛成スルノデアリマス、尤モ吾等個人トシテハ、此點ニ於テ多少ノ同情ヲ拂フコトモアリマスガ、一般ノ法規ト相違ンデ行クト云フコトカラ見マスレバ、已ムヲ得ヌト思ヒマス、併ナガラ實際ニ於テ是ガ實施サレテヨリ困難トシタナラバ、他日又吾々ハ修正スルコトガ十分出來ルト思フ、今日此際ニ於テハ、政府ノ考ヲ認メテ之ニ賛成スル方ガ、吾々立法府ノ一人トシテ妥當デナイカ、政府ノ仕事ハ全部賛成スル譯デナイガ、大體ノ趣意ヲ賛成スル以上ハ、暫ク政府ノ案ヲ成立サセテ、サウシテ實際貯蓄銀行ガ營業ガ出來ナイト云フ狀況ガアリ、又實際ノ貸付狀況ニ於テ非常ニ困難ヲ爲スト云フコトガ將來發見サル、時ニ於テハ、復タ相當ノ修正ノ時機ガアルダラウト信ジマス、此場合ニ於テハ政府ノ意見ニ同情シテ、政府立案ノ根本趣旨ニ重キヲ置イテ、之ニ賛同シタイト思ヒマス、ソレカラ營業稅ノ下ニ所得稅云々ヲ加フルト云フ事ニ就テモ、法規ノ上ニ於テ制定困難デアリ、且ツ事情困難デアッテ、已ムヲ得ヌダラウト思フ、第十一ノ預金通帳ノ印紙貼用問題ニ關シテハ、大體修正者ノ趣旨ニ同情デアリマス、成ベク斯ウ云フヤウニシテ見タイト思フ、思フケレドモ、政府ノ意見ニ依レバ今現ニ調査會ノ審議中デアッテ、調査會了ヘテサウシテ將來一絡ニ纏メテ、之ニ對スル相當ノ考慮ヲ費スト云フ事デアリナラバ、暫ク政府ノ爲ス所ヲ見テ、而シテ徐ロニ吾々ノ意見ヲ定メテ間違ナカラウ、吾々個人ノ意見トシマシテハ、此預金ノ點ハ御趣意ハ同情デアリマス、シテ貫ヒタイノデアリマスガ、一方是ノミナラズ、他ノ方面ヲ調査會デ審議中デアルトシタナラバ、吾々立法府ノ一人トシテハ、其審議ノ成ベク速ニ解決サレテ適當ナル案ガ出來ルノヲ待ツ、又必ズソレダケノ仕事ヲシテ居ルコトナリト當局ヲ信ジテ

此案ニ賛成スルノハ已ムヲ得ヌ事ト思ヒマス、之ヲ要スルニ上田君ナリ、武内君ナリノ修正ナサレル根本ノ意思ニ於テ、同情スル點ガ甚ダ多イ、又吾々モ左様ニ信ズル點モアリマス、併ナガラ政府ノ辯明セラ、所ノ理由ハ、原案ノ根本ノ趣旨カラ見テ之ニ賛成セザルヲ得ナイ、ノミナラズ場合ニ依テハ此案ノ施行實施ノ上ニ於テ、非常ナル不便ヲ感ズル時ニ於テハ、直チニ其修正ヲスル權能ヲ有スル故ニ、何時デモ修正スルコトガ出來ルト思ヒマス、是ハ又明年一月カラ施行セラレマス、其間ニ於テ營業者ガドンナ研究ガ出來テ、サウシテ施行前ニサウ云フ點ガアリマシタナラバ、明年一月二月復タ修正ノ意見ヲ出ス時機モ十分アルダラウト思ヒマス故ニ、大體政府ノ言フ所ノ意見ハ已ムヲ得ヌ、妥當ナリト信ジテ、此政府案ニ賛成スルノデアリマス

○倉石知藏君 私人最モ懸念致シマシタノハ、之ヲ以テ定ムル實施時日ニ在ッタノデアリマス、只今政府委員ノ御答辯ニ於テ満足ニ存ジマス、其他ノ各項ニ涉リマシテハ、只今武内君ノ御述ノアリマシタ修正案ニ賛成致シマス

○白井博之君 私人原案ニ賛成スル者デアリマス、理由ハ高見君カラ詳細ニ陳述サレマシタカラ私ヨリ申シマセヌ、ドウゾ討論ハ本會ニ移シマシテ、採決アランコトヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○委員長(波多野承五郎君) 終結致シマス、宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(波多野承五郎君) 此上田君ノ御修正ハ賛成者ガ無イヤウデアリマス、是ハ採決ヲシナクモ宜イト思ヒマスガ、ドウ云フ先例デスカ

〔採決ヲ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○委員長(波多野承五郎君) ソレデハ武内君ノ修正ハ共通ノ點ト共通デナイ點ト二ツニ分ケテ共通點ヲ先ヘ採決致シマス、即チ上田君ノ御提議ノ第五ト第六ト第七、即チ小切手ノ事ト、供託金ノ三分ノ一ノ其半分ヲ國債證券ニスルト云フ案ト、其次ハ十一條第一項ノ第四號五號ノ貸出金額ヲ供託金ノ中カラ差引

シヤウ、此三點即チ共通點ニ就テ、御同意ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○委員長(波多野承五郎君) 少數ト認メマス、ソレカラ其次ハ共通點ナカリシ上田君ノ御修正案、即チ上田君ノ修正案ノ第一、第二、第四、第八、第十、第十一、第十二、之ニ就テ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○委員長(波多野承五郎君) 少數ト認メマス、次ニ原案ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○委員長(波多野承五郎君) 多數ト認メマス、原案ニ可決致シマシタ、ソレカラ其次ノ銀行條例中改正法律案ニ就テ決ヲ採リマス、之ニ御賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○委員長(波多野承五郎君) 滿場デアリマス、全會一致可決致シマシタ、ソレデハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後二時三十三分散會

大正十年三月二十一日印刷

大正十年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局